

# かるまいの議会だより

No. 219

令和元年 11月6日



がんばるぞい  
おー！

## 主な内容

- 📁 特集 [町営住宅]  
新萩田2号団地（仮称）建設 2
- 📁 9月定例会 一般質問に8人登壇 13
- 📁 議会のはてな 議員の視察研修 25
- 📁 インタビュー「かるまい町に住んでみて」 28

特集 町営住宅



30年度

今年度は2棟を建設 10戸予定

新萩田2号団地 入居はいつに...

1団地ごと 移転を予定

昨年度2棟を建設、今年度予定している10戸が完成したら、団地ごとの転居の方向で、入居募集はまだ行っていません。...

経過措置で 5年は減額

町営住宅の目的は、安く入居してもらってこゝが目的であり、所得にに応じた賃料を設定しています。...



向川原住宅



萩田住宅



上新町住宅



下新町住宅

移転予定の4団地はこちらになります。

9月定例会(第3回)は、9月2日から13日までの12日間の会期で開かれました。平成30年度一般会計と特別会計、水道事業会計の決算について承認したほか、教育長、教育委員任命への同意、令和元年度補正予算2件、条例改正6件をすべて可決しました。...

〔公営住宅とは〕

「国と地方公共団体が協力して、健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を建設し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸することにより、国民生活の安全と社会福祉の増進に寄与することを目的とするもの」と定められています。

ぎかいの視点

新築住宅に早く入居を

1年間放置することに疑問?

昨年度新築された町営住宅は、木造平屋の1戸建てタイプの2棟です。設計管理費745万円、設計費2戸分で4110万円の決算となっています。しかし、来年4月までは募集しない。1年間放置され、新築が中古住宅になってしまうのはもったいないのでは。入居者の中には、現在より住宅賃料が高くなるなど、転居することを敬遠している話もあります。町営住宅の入居は、抽選が一般的です。団地ごとの移転を優先するあまり、新築2戸分を1年遅らせることには疑問を感じざるをえません。



高橋 イトさん (上新町住宅)

一緒に移転を

移転に関して説明がなく、家賃が高いとの噂も聞きます。今の住宅に住み慣れていて、移転するのは寂しい気持ちもあります。移転することになっても、今の近隣の方が両隣に入居してくれれば、コミュニケーションをすることができて寂しくならないと思います。



村上 由紀子さん (下新町住宅)

気軽に外出

下新町住宅に住んで45年が経ちます。建物も古くなったし、なにより坂道を登るのが大変です。平らなところに住みたいです。病院が近くて、買い物に行くにも便利な新しい町営住宅には楽しみにしています。

# 30年度決算 すべてを承認

〔9月定例会日程〕

9月2日	招集日（議案上程、特別委員会設置）
4日	一般質問（4人）
5日	常任委員会
6日	一般質問（4人）
9日	平成30年度一般会計歳入歳出等審査特別委員会
11日	
13日	最終本会議（委員長報告、採決）

**引き続き財政の健全化の努力を**

平成30年度の一般会計決算は、実質収支が2億7621万円の黒字、単年度収支は2億723万円の赤字となった。国民健康保険特別会計への一般会計からの繰入金は9826万円となっており、そのうち法定外繰入はなかった。基金残高は主要3基金のうち財政調整基金とふるさとづくり振興基金が増加、前年度比で約2億3879万円増加した。財政健全化については早期健全化基準からみて良好だが、今後の施設

決算審査意見  
(令和元年9月13日 本会議場)

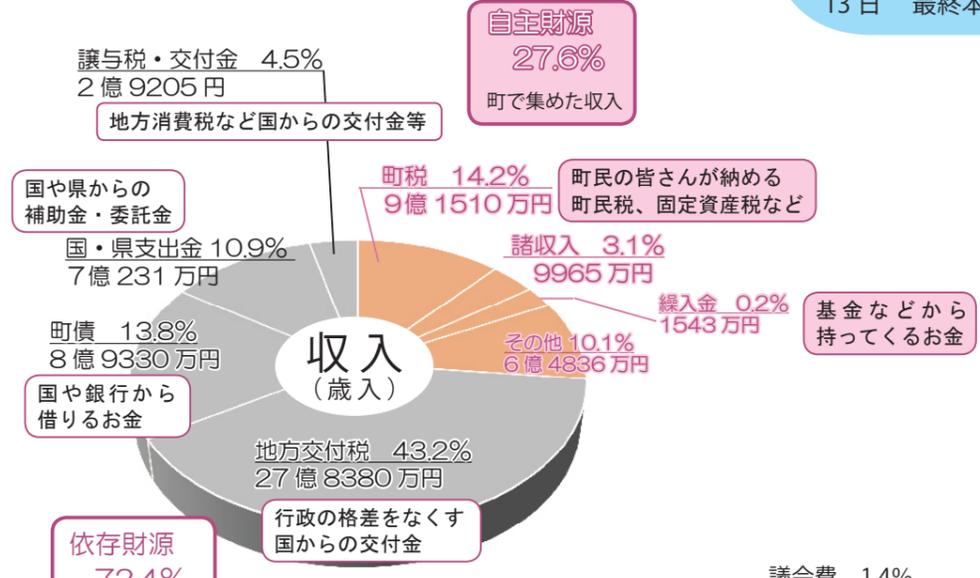


みつお 竹下 光雄  
代表監査委員

建設等にかかる費用と新たな行政課題に対応し、将来にわたって持続的で安定した行政サービスを提供していくためにも、引き続き財政の健全化に努めてほしい。

**将来の町の在り方 住民意見等の考慮を**

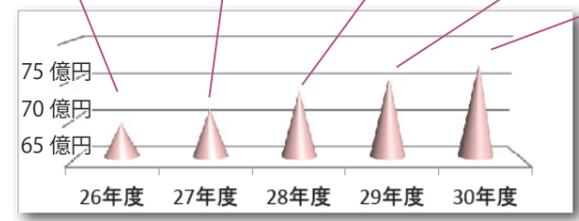
機構改革により新たな執行体制が進められているが、事務事業の執行は適正に処理されていた。次期総合発展計画の策定にあたっては、将来の町の在り方、住民の意見、社会経済情勢等を十分に考慮し、進めていただきたい。



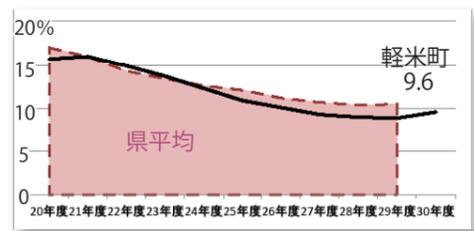
## グラフと数字で見る平成30年度の財政状況

■町債残高の推移【増加傾向】〔町債〕町の借入金

平成26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
69億4087万円	71億2196万円	73億5641万円	75億3337万円	77億1352万円

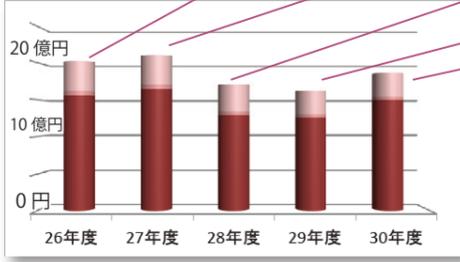


■実質公債費比率の推移【増加傾向】

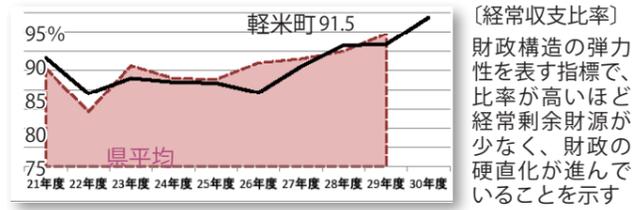


■主な基金残高の推移【増加傾向】

主要3基金内訳	平成26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
財政調整基金	15億5572万円	16億4987万円	12億9503万円	12億5356万円	14億9566万円
町債減債基金	5959万円	5631万円	5294万円	4955万円	4621万円
ふるさとづくり振興基金	4億802万円	4億814万円	3億5927万円	3億1830万円	3億1833万円
合計	20億2333万円	21億1433万円	17億725万円	16億2142万円	18億6022万円

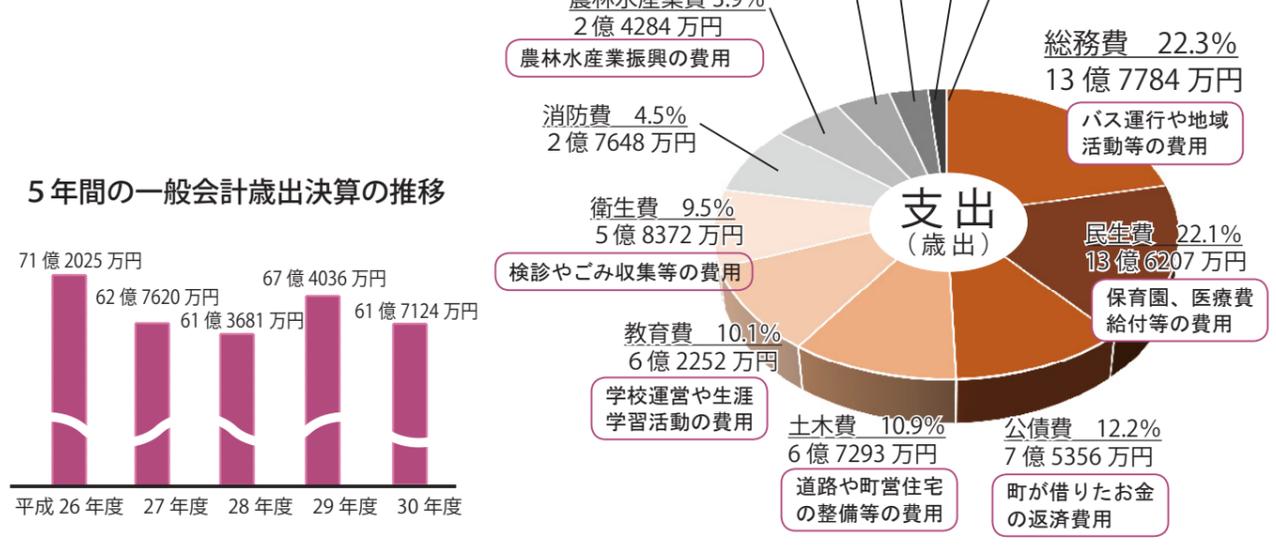


■経常収支比率の推移【上昇傾向】

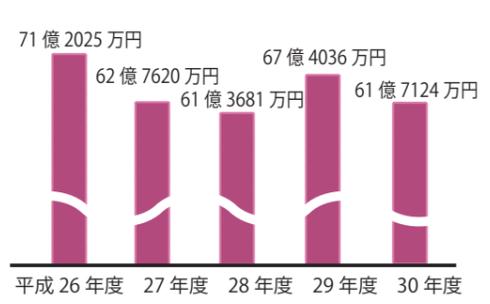


平成30年度一般会計収支内訳

※歳入歳出とも1万円未満は切り捨て  
※グラフ中の「%」は構成比を表す



5年間の一般会計歳出決算の推移



平成30年度会計別決算の状況

会計区分	歳入(収入)	前年度比較	歳出(支出)	前年度比較	結果	
<b>一般会計</b>	64億5004万円	△8億135万円	61億7124万円	△5億6912万円	認定	
<b>特別会計</b>	国民健康保険	11億7890万円	△3億6767万円	11億5962万円	△3億6533万円	認定
	下水道事業	1億5657万円	318万円	1億5198万円	310万円	認定
	介護保険	6262万円	△20万円	6067万円	△40万円	認定
	後期高齢者医療	9044万円	256万円	9015万円	268万円	認定
	特別会計の合計額	14億8854万円	△3億6214万円	14億6245万円	△3億5995万円	-
<b>水道事業会計</b>	収益的	3億8512万円	△305万円	3億6847万円	2438万円	認定
	資本的	8557万円	△2034万円	2億2676万円	△4055万円	

※金額はすべて1万円未満の金額を切り捨てていますので、合計とは一致しません。

# 平成30年度 注目事業



## デジタル防災行政無線整備工事 3億3,696万円

町内防災行政無線無線のデジタル方式への移行に伴い、屋外拡声子局を更新。3か年計画事業がすべて完了しました。

町の火葬場は昭和51年の供用開始から40年以上が経過し、老朽化が進んでいました。改築に向けた実施設計を作成し、2020年4月の供用開始に向けて本年度は建設工事が進められています。



## 火葬場整備事業調査測量設計業務委託料 2,420万円



## 町道下小路保育所線歩道整備事業 2,667万円

小軽米保育園入口前の歩道を整備。小軽米小学校の児童の通学路にもなっていることから、子どもの安全が確保された整備事業でした。

# 一般会計決算から ピックアップ



## かるまい交流駅（仮称）整備事業 実施設計業務委託料 5,529万円

多世代型多目的交流施設に併せて図書館・中央公民館の機能を備えた施設の整備に向け、実施設計を作成。令和5年4月開館を予定。現在は町道の整備段階です。

## 新萩田2号団地（仮称）町営住宅建築工事 4,110万円

2ページ、3ページの特集で紹介したとおり、昨年度は2棟を建設。移転、家賃等について9月定例会でも議論され、10戸建築後の町の動きに注目です。



Before

雨漏り等により老朽化した床の張り替えを行いました。



After

## 町民体育館床改修工事 3,404万円

フローリングからスポーツシートに張り替え、安全性が向上しました。町民体育館への来館人数は年々増加傾向であり、小さい子どもから大人まで多くの方が訪れます。安全に運動をすることができる施設になりました。

# 《9月定例会》 請願陳情・補正予算

## 皆さんからの請願・陳情の審査結果

【請願陳情第1号】  
 \*件名:「**介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める請願**」  
 \*要旨:介護従事者の賃金の底上げをはかり、安全・安心の介護体制を確保するために、全国を適用地域とした介護従事者の最低賃金「特定最低賃金」を新設してほしい。  
 \*請願者:岩手県医療労組組合連合会  
 執行委員長 中野るみ子  
 \*紹介議員:江刺家静子、田村せつ、館坂久人

**採択** → **意見書提出**  
 内閣総理大臣、厚生労働大臣  
 財務大臣  
 全会一致

【請願陳情第2号】  
 \*件名:「**看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める請願**」  
 \*要旨:介護従事者の賃金の底上げをはかり、安全・安心の看護体制を確保するために、全国を適用地域とした看護師の最低賃金「特定最低賃金」を新設してほしい。  
 \*請願者:岩手県医療労働組合連合会  
 執行委員長 中野るみ子  
 \*紹介議員:江刺家静子、田村せつ、館坂久人

**採択** → **意見書提出**  
 内閣総理大臣、厚生労働大臣  
 財務大臣  
 全会一致

【請願陳情第3号】  
 \*件名:「**医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める請願**」  
 \*要旨:2022年度以降の医師養成定員減という方向を見直し、医療現場と地域の実態を踏まえ、医師数をOECD平均以上の水準に増やしてほしい。  
 \*請願者:岩手県医療労働組合連合会  
 執行委員長 中野るみ子  
 \*紹介議員:江刺家静子、田村せつ、館坂久人

**採択** → **意見書提出**  
 内閣総理大臣、厚生労働大臣  
 財務大臣、文部科学大臣  
 総務大臣  
 全会一致

令和元年度一般会計予算の補正  
**総額 72億6115万円に**

一般会計補正予算(第3号)の主な内容

【歳入】

- 普通交付税 (地方交付税 336万円)
- 社会資本整備総合交付金 (国庫補助金 198万円)

会計別歳入歳出予算(9月13日現在)

会計別	予算額	
	今回補正額	予算総額
一般会計③	5947万円	72億6115万円
特別会計	国民健康保険	11億8700万円
	後期高齢者	9110万円
	介護保険②	6084万円
	下水道事業	1億6270万円

※金額はすべて1万円未満の金額を切り捨てています  
 ※表中の○数字は補正措置の回数を表しています

**歳出の注目はこれだ!**



**いちい荘整備事業費補助金 4,881万円**

## 9月定例会で決まったこと

議案第3号  
**利用料を無料に**  
 子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、令和元年10月1日から、へき地保育所の利用料が無料になることが決定しました。

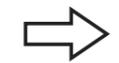
議案第1～2号  
**菅波氏が再任**  
 同意案第1号「教育長の任命に関する同意を求めることについて」は、本会議にて議員11名で選挙を行い、全会一致で菅波俊美氏が再任されました。



議案第5号 **幼稚園保育料を無料化へ**

軽米町立幼稚園の保育料は下の表のとおり設定されていましたが、子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、10月1日から軽米町立幼稚園の保育料を無料とするものです。

区分	金額		
保育料	月額	生活保護世帯	0円
		非課税世帯	1,400円
	階層区分	市町村民税所得割額 77,100円以下	2,500円
		211,200円以下	3,200円
211,201円以上	4,000円		
預かり	日額	200円	
保育料	月額	3,000円	



区分	金額	
保育料	<b>無料</b>	
預かり	日額	200円
保育料	月額	3,000円

**かるまい 議会だより** No. 219 の表紙

9月7日(土)に晴山保育園で運動会が行われました。天気にも恵まれ、園児たちは元気いっぱいに競技やお遊戯を行い、会場は園児や家族の声援で盛り上がりました。



# 特別委員会での主な質疑

《9月定例会》

## 討論

9月13日の最終本会議での発言要旨を掲載

本会議場での討論は議案ごとに、先に反対者、次に賛成者の順番で行われます。

<p><b>反対</b> 江刺家 静子</p> <p><b>公約に反しているのでは</b></p> <p>台風15号により、火災の発生や千葉県内では大規模停電が続いている。再生可能エネルギーを広めていくことには賛成だが、自然破壊や災害につながりかねないメガソーラーは反対。</p> <p>保育施設の民営化は、施設や運営、職員体制の安心から遠のき、福祉の後退を招くのではないかと懸念。また、9月定例会前にふれあいセンターの介護部門を廃止する方向の説明があり、町長の公約である、高齢者が安心して暮らせるまちづくりの実現に反しているのではないかと懸念。</p>	<p>【議案第7号】平成30年度一般会計決算の認定</p>	<p><b>賛成</b> 田村 せつ</p> <p><b>再エネ、全国から注目</b></p> <p>メガソーラー事業は、本年7月1日から軽米西ソーラーが稼働するなど、順調に事業が進展している。再エネ推進による具体的な経済効果として、税収の増加、自然のめぐみ基金への寄附、工事に伴う地元企業の積極的活用などが挙げられる。心配されているメガソーラー施設の防災対策について、軽米西ソーラーでは5名が常駐して施設を巡回、保守管理にあたり、万全な体制である。また、バイオマス発電とあわせ、地域資源である再エネを活用した町づくりは、全国からも注目されている。</p>
<p><b>反対</b> 山本 幸男</p> <p><b>坪単価 90 数万に疑問</b></p> <p>今定例議会で話題にのぼった粗大ごみの有料化について、時間を費やして議論をした。従来どおり収集するという事になったが、将来的にごみの有料化という足音が聞こえてくる印象を受けた。</p> <p>完成した町営住宅2棟については、いまだに入居者がなく、募集もしていない。このことは、町民の血税を無駄にしているというような印象は免れない。建築費の単価が坪当たり90数万円という説明もあり、納得のいく金額ではない。それほど投資して建築したものが、1年半も空き家になっているのは、たいへん残念なことである。</p>		<p><b>賛成</b> 上山 誠</p> <p><b>着実に事業を展開</b></p> <p>防災行政無線のデジタル化や火葬場の更新のための設計業務、特別養護老人ホーム・いちい荘整備事業への支援など、各分野において着実に事業が展開された。</p> <p>メガソーラー施設による災害発生リスクとその対策について、洪水調整池、沈砂池の設置、残置森林を多く残し、森林・山林の地形をできる限り維持し、自然環境に配慮した作りであり、ライブカメラの設置等のハード整備がなされている。リスク対策に万全を期し、地域資源の有効活用と、不動産収入や固定資産税の増収等、地域内の経済活性化等の両立を図りながら事業を進めていただくことを期待する。</p>

### 地方創生交流生産推進事業

円子地区交流センターに併設するパン工房を活用し、パンの製造技術を習得、試作品の市場調査を行うなど試験研究を行い、3年後の本格販売に向けて取り組んだ。

【事業費154万5千円】



**問** 3年後に本格販売ということだが、現在は何人で取り組みをしているのか。現況は。

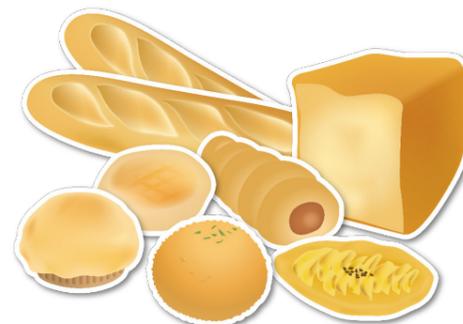
**答** 6名の子育て世代の方々が協力して取り組んでいる。今年度からは一部販売も始めており、Facebookで情報を発信している。

**問** 新聞にも掲載され町内外から注目されているが、パン工房への案内板が入口のみで、来町者は見つけられないのではないかと懸念。

**答** のぼり旗の設置など打ち合わせの中で提案したい。

**問** 3年後の本格販売を目指すために、もっと行政が積極的に支援していくべきでは。

**答** 支援していくが、3年後には自立して自主的に活動ができるように関わりたい。



### 花いっぱい運動の展開

花いっぱいコンクールを実施し、ふれあいと思いやりのある地域づくりの推進に努めるとともに、住民の環境美化意識の高揚に努めた。

【事業費78万5千円】

**問** 事業を展開して約30年経過したが、さらに花いっぱい運動を展開していこうというのが薄れていると感じるが、新たな施策などは話し合われているのか。

**答** 同じ認識である。事業に向けて、事業内容の見直しを内部で検討してまいりたい。

### 工芸作物等生産振興事業

町の基幹産業の中でも中心的な位置付けにある工芸作物の生産に対し、各対策を講じることに伴い、生産量の維持と農家経営の安定を図り、生産意欲の向上を図った。

【事業費414万1千円】

**問** 町全体の葉タバコ、ホップの生産者の現況は。

**答** ホップ生産者より葉タバコ生産者の方が後継者が多いと感じる。しかし、葉タバコの耕作面積は20年前と比べて約半分となった。軽米町のホップ生産農家は現在14戸となっており、軽米町を含む5市町で構成される岩手県北ホップ農業協同組合は、これ以上ホップ生産農家が減少すると組合が成り立たなくなる状況。



第 3 回定例会 8 人が登壇

# 一般質問

**一般質問とは**  
 ・定例会に限り、町政全般に関して質問できます  
 ・質問項目はあらかじめ事前の通告が必要です  
 ・質問者の順番は通告した順番で行われます  
 ・同一項目についての再質問は 2 回までできます  
 ・時間の制限はありません

質問議員	質問事項	関連写真
	ドッグラン施設整備の検討を 町の受動喫煙防止対策は	
	農地利用最適化の推進に関する施策について	
	担い手、後継者対策はいかに	
	児童クラブの安全対策と緊急時の対応、 施設改修について メガソーラーの災害時の対応は	
	山本町長の書類送検後の動きは	
	郷土芸能の維持伝承に対する町の認識は	
	メガソーラー施設の現状と売電状況は 生ごみの新処理方式は順調か	
	畑作振興の実態、経営状況は 生ごみ処理事業の費用対効果は 水道事業経営の状況と今後について	

## 《 9 月定例会 》 案件と採決結果

番号等	案件内容	本会議の採決結果	付託先	採決日
同意案①	教育長の任命（菅波俊美氏 = 再任）	同意 (全員賛成)		9月2日 (招集日)
同意案②	教育委員会の委員の任命（紫葉守氏 = 新任）			
議案①	軽米町印鑑条例の一部を改正	可決 (全員賛成)	平成30年度軽米町一般会計歳入歳出決算等審査特別委員会	9月13日 (最終本会議)
議案②	復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正			
議案③	へき地保育所設置条例の一部を改正〔p8参照〕			
議案④	軽米町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正			
議案⑤	軽米町立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正〔p8参照〕			
議案⑥	軽米町水道事業給水条例の一部を改正			
議案⑦	平成30年度軽米町一般会計歳入歳出の認定 (歳出決算総額 61億7124万円)	認定 (賛成多数)		
議案⑧	平成30年度軽米町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定 (歳出決算総額 11億5962万円)	認定 (全員賛成)		
議案⑨	平成30年度軽米町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定 (歳出決算総額 1億5198万円)			
議案⑩	平成30年度軽米町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定 (歳出決算総額 6067万円)			
議案⑪	平成30年度軽米町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定 (歳出決算総額 9015万円)			
議案⑫	平成30年度軽米町軽米町水道事業会計決算の認定及び利益の処分	可決 (全員賛成)		
議案⑬	令和元年度軽米町一般会計補正予算③ (5947万3千円の増額補正) 〔p6参照〕			
議案⑭	令和元年度軽米町介護保険特別会計補正予算② (39万円の増額補正)	採択 (全員賛成)		
請願陳情①	介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める請願〔p9〕			
請願陳情②	看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める請願〔p9〕			
請願陳情③	医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める請願〔p9〕	可決 (全員賛成)		
発議案①	全国を適用地域とした介護従事者の最低賃金を新設するための意見書〔p9〕			
発議案②	全国を適用地域とした看護師の最低賃金を新設するための意見書〔p9〕			
発議案③	医師数を OECD 平均以上の水準に増やすための意見書〔p9〕			
	委員会の閉会中の所管事務調査について (次定例会までの間、委員会の調査活動を認めるもの)			



なかむら まさし  
中村 正志

ドックランの施設整備

問 愛犬家のために検討を

町長 他の要望と優先順位を考慮したい

問 愛犬家の話や町外の施設を見て、ドックランの必要性を感じた。施設整備を行う考えはないか。

町長 ドックラン整備へのニーズの調査し、他の事業との優先性を踏まえながら、検討していきたい。

問 廃校となったグラウンドや利用されていない空き地も多くあり、有効活用も含めてドックランの施設整備を考えては。

町長 廃校グラウンドの活用については、グラウンドゴルフやパークゴルフ場としての利用のほか、子育て世帯からは、子どもの遊び場の整備の要望がある。それらのニーズを踏まえて、優先順位等を考慮しながら検討していきたい。



広いドックランを走り回り、ペットの嬉しそうな表情がうかがえます。

受動喫煙防止対策

問 法改の趣旨・内容は

町長 望まない受動喫煙の防止

問 健康増進法の一部を改正する法律の施行により、行政機関は今年7月1日から敷地内禁煙となったが、その趣旨と内容、取り組みなどの説明を。

町長 望まない受動喫煙の防止を図るため、多数の者が利用する施設等の区分に依り、施設等の一定の場所を除き喫煙を禁止するとともに、施設を管理する者が講ずべき措置について定められている。

問 町有施設の喫煙所は

町長 屋外に吸い殻入れを設置

問 町には町民が利用する運動施設や行政施設があるが、それぞれの施設の屋外喫煙所の設置状況はどうなっているか。

町長 出張所や健康ふれあいセンター、幼稚園・保育園には特定の屋外喫煙所は設置していない。体育館や集会施設など、ほとんどの施設はすでに建物内を禁煙とし、屋外に吸い殻入れを置くなどの対応をしている。



にしだて とくまつ  
西舘 徳松

農地利用最適化の推進

問 担い手の確立が必要では

町長 認定農業者等への周知徹底を図る

問 耕作放棄地の対策に関して、国庫、県単の基準整備事業、日本型直接支払制度など、各農業委員などが集会等で事業の説明をしているが、参加者の多くは高齢者であり、なかなか理解されにくいと感じる。意欲のある若い担い手を巻き込んだ事業導入、体制の確立が必要と考えるが、町長の考えは。

町長 平成24年度に作成した地域農業マスタープランは、令和2年度末までの実質化が義務づけられている。将来にわたって地域の農地と農業を担っていく中心経営体の確保を図るため、認定農業者や認定新規就農者への周知徹底により、プランの実質化に向けた話し合いへの積極な参加を促したい。

問 今年度新たに創設された町単の親元就農給付金事業の交付決定者数は。

町長 広報かるまいやお知らせ版や軽米テレビで周知してきたが応募はない。交付要件を満たすことが想定される9名の方に対して個別に事業を紹介するなど周知に努めている。



認定農業者や新規就農者のプラン実質化に向けた話し合いへの参加が求められます。

問 交付要件の見直しを

町長 再検討してより良いものに



農業においても高齢化が進んでいることから、若い担い手の確保がより一層求められます。

問 交付要件を、専門的な畜産農家はクリアできそうな条件だが、畑作・水田農家には厳しい条件である。要件を緩和したほうが良いと考えるがいかがか。

町長 他市町村の類似事業も参考に検討を重ねた上で策定したものの、利用者がいない状況。新規に親元就農を希望、就農を始めた方々にとってより良い支援制度となるよう再度検討したい。

問 年間交付額42万円は、新規就農者にとって魅力のある金額と言えるのか。

町長 国の制度等と整合性を図りながら、併せて検討したい。



町の農業振興施策

問 担い手・後継者対策はいかに

町長 地域で話し合い、掘り起こしたい

問 今後、軽米町の農業の核となる担い手や、後継者の確保についてどのような政策を展開するのか。

町長 農業次世代人材投資事業と、町単事業の親元就農給付金事業の制度を活用してもらいながら、地域農業



機械の更新・導入に対する補助制度が実現すれば、農作業の効率化、生産性、品質向上などにつながるのではないのでしょうか。

問 向上意欲のある担い手等に対して、機械の更新・導入に係る町独自の補助事業を考えてみては。

町長 財源、意向等を総合的に検討

問 機械導入に町単事業を

町長 財源、意向等を総合的に検討

町長 国庫補助事業、県単独事業、町単独事業により町の農業振興を進めている。しかし、担い手を対象とした町単独の機械の更新・導入に対する補助制度は創設されていない状況。特定財源の確保の見通しや、担い手農業者の意向等を総合的に勘案し、検討したい。



放課後児童クラブ

問 施設改修と小学校区ごとの設置を

町長 国基準の10人を下回り、設置増は困難

問 現在の施設は児童クラブとして利用されることを想定した設計になっていない。緊急時や不審者への対応ができないの。改修が必要では。

町長 改善が必要な箇所については、施設管理者の教育委員会と協議し改善に努めている。緊急時の対策として、避難訓練の実施や、職員の役割分担など、災害発生時の対応に万全を期している。玄関の扉や、不審者への対応など改善方法については協議しながら予算措置など検討したい。

問 小学校区ごとに児童クラブを設置してはどうか。

町長 平成25年に放課後の児童の過ごし方、利用意向等の調査



安心して子どもを預けることができる、安全に遊べるような改修が求められます。(勤労福祉センター)

メガソーラー施設

問 災害時の住民説明を

町長 機会あるごとに周知したい

問 再生可能エネルギーによる農山村活性化計画書の作成後の推進協議会の活動は。

町長 地区説明会でも、災害発生時の対応については説明しているが、今後も一般町民対象の現地見学会など、機会があるごとに周知に努めたい。

問 土砂崩れや火災時の注意など周辺の住民への周知や説明が必要ではないか。



現地説明会にぜひ参加し、メガソーラー施設に対する理解を深めましょう。



郷土芸能の維持伝承

問 各団体の活動状況は

教育長 現在は5団体が活動中

【教育長】現在の支援は、郷土芸能の維持伝承を推進する方策について、どのような認識を持っているか。

【問】少子高齢化により、当町の郷土芸能の維持伝承が危ぶまれているが、各団体等の活動状況は。【教育長】貴重な郷土芸能の保存・普及のため、軽米町郷土芸能保存会が組織されており、9団体が加盟している。活動中の団体は、沢田神楽、駒踊り、太神楽、軽米民謡、山内神楽の5団体で、4団体は活動休止中となっている。維持伝承の活動は、各団体の取り組みとともに、学校と連携した取り組みを行っている。



▲山内神楽

【問】幅広い年代で郷土芸能に親しむことができる施策を進めるとともに、小中学校の活動の中で取り組まれるよう、もう少し行政としても力を入れてほしい。

【教育長】今年度も郷土芸能に関わる取り組みを進めたい。【問】地域に根差した郷土芸能の維持伝承活動を展開していくことは、軽米高等学校存続への大きなアピールになると考えるがいかがか。



▲南部駒踊り

【問】地域に根差した郷土芸能の維持伝承活動を展開していくことは、軽米高等学校存続への大きなアピールになると考えるがいかがか。【教育長】活動する生徒や指導体制、活動時間と場所など検討すべき課題が多く、現在行っている活動や部活動の見直しをしている。

書類送検とその後

問 訴えた側との示談交渉は

町長 虚偽の告訴であり、する理由がない



(写真はイメージで、本文とは直接関係ありません)

【問】事情聴取、聞き取り、取り調べ等が行われたと思われるが、その回数。【町長】本件は完全な事実無根の言いがかりの告訴で、隠し立てするようなことはない。司法の調査に全面的に協力しており、今後変わることはない。回数などの情報については、その時期は私の知るものではなく、私的

な事項についての興味本位の質問と判断し、回答は差し控える。【問】書類送検されてから10か月。そろそろ結論が出る頃ではないか。起訴、不起訴について見通しは。【町長】起訴、不起訴の判断は、検察官がその権限に基づいて独立して行うものであり、その時期は私の知るものではない。

過去の一般質問を紹介

かるまい議会だより No.216 「書類送検の経過説明を」



かるまい議会だより No.215 「町長の事件、町民へ説明を」



【問】訴えた側との示談の交渉はあるのか。【町長】本件は事実無根の告訴であり、当然不起訴となるもので、虚偽の告訴をした者との間での示談交渉をする理由が全くない。【問】町長は、県町村会の会長に再選したと聞く。書類送検

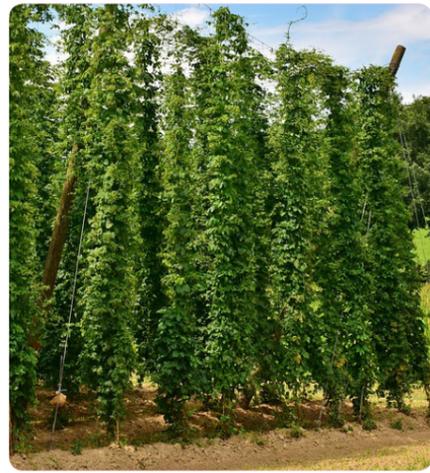
【町長】各町村長の皆様から広くご支持をいただき、町村会長に再選させていただいた。虚偽の告訴によって、政治家の政治活動が制限されることは決してあってはならないことだと思っている。



町の農業振興

問 農業後継者問題への認識は

町長 地域農業マスタープランの実質化へ



後継者問題や支援事業の周知は町の喫緊の課題です

**問** 本町における畑作の実態と経営状況について、20年前・10年前・現在の比較推移について伺う。

**町長** 葉たばこ・ホップ・果樹類・花卉類・野菜類は、生産者数と経営面積ともに減少傾向だが、雑穀については、どちらも2倍以上に増加傾向である。

**問** 町の単独事業である親元就農給付金事業を今年度から実施しているにもかかわらず、一組も申し込みにくいようだが、後継者問題についてどのように考えているか。

**町長** 近年の人口減少と少子高齢化に伴い、担い手や後継者不足が大きな問題で、その対策が喫緊の課題である。今後、地域農業マスタープランの実質化に向けて地域ごとに話し合いをし、地域の皆様とともに新規就農者の掘り起しに取り組みたい。

水道事業民営化

問 町の方針はいかに

町長 近隣の水道事業体との連携模索

**問** 水道事業を民営化したいという法律改正を、町ではどう受け止め、どのような進め方なのか。

**町長** 民営化による料金の高騰や、水質悪化により、再度公営化に切り替えるケースがあることから、当町では近隣の水道事業体との連携を模索し、効率的な経営に努めたい。民営化については考えていない。

生ごみ処理事業

問 当初の説明との差はなぜ

町長 冬季の作業効率が低下

**問** 1日当たり約400kg程度の処理能力との説明だったが、現状は約100kgである。300kgの差はどうしてか。

**町長** 消滅菌と生ごみを混ぜ合わせ、2週間ほどで生ごみ自体が消滅する処理方法だが、消滅菌の冬期間の温度管理が難しく、作業効率が低下してしまう。



メガソーラー

問 豪雨時の対応は十分か

町長 さらに災害防止策を強化する

**問** 軽米西ソーラーの売電が7月から始まったが、現在の売電状況は。

**町長** 事業区域約155ヘクタールで発電規模は48メガワットであり、一般家庭の年間消費電力に換算すると、1万4167世帯分に相当する。

**問** 1時間当たり100ミリ以上の雨が降っても、調整池は十分に対応できるのか。

**町長** 岩手県の林地開発許可基準に従って、30年に1度の大雨でも水を一時的に溜めて、下流に流せる状態になっている。(30年に1度の大雨とは、1時間当たり約114ミリ)



豪雨等による自然災害に対する災害防止策の強化が期待されます。

**問** プラスチックごみについて新聞やテレビ等で取り上げられているが、当町の対策は。

**町長** プラスチックごみが川や海に流れていくことで、海が汚染され、環境問題とされている。ごみ減量のために一人一人の意識の向上が必要であり、不法投棄の防止などを広報等で周知、啓発を図りたい。

**問** ごみの集収日や回数、方法が変わったら、町民に知らせるべきでは。

**町長** ごみの集収日については毎年、家庭

**問** 粗大ごみとして収集してきた布団や、カーペットやブルーシート等は、九戸村の岩手第2クリーンセンターに直接搬入することになったがいつまでなのか。

**町長** 令和2年度までは令和3年度に二戸地区クリーンセンターの工事が終了し、従来どおりストックできるようにすれば再開できると想定している。

生ごみ処理事業

問 収集日等の変更の周知を

町長 ごみ収集日程表で確認を

**問** プラスチックごみについて新聞やテレビ等で取り上げられているが、当町の対策は。

**町長** プラスチックごみが川や海に流れていくことで、海が汚染され、環境問題とされている。ごみ減量のために一人一人の意識の向上が必要であり、不法投棄の防止などを広報等で周知、啓発を図りたい。

# 伝統工芸と園芸メガ団地を学ぶ

①大館工芸社  
□8月5日(月)  
□秋田県大館市



大館市 HP QRコード



熱湯で温められた木材を素手で丁寧に折り曲げており、職人の手間と工夫を学ぶことができました。

## 後世を見据えた育林

大館曲げわっぱは秋田杉を使った伝統工芸品。その伝統工芸品を後世に残すため、150年先を見据えた秋田杉の植林、育林に取り組んでいる。市内の小学5年生が曲げわっぱの弁当箱を作って学校で使用することで食育を進め、小さい頃からかかわることで、大館の伝統工芸を引き継いでいくという取り組みに深く感動しました。



ちやや たかし 茶屋 隆  
産業建設常任委員長

## ②園芸メガ団地

□8月6日(火)  
□秋田県横手市



夏はハウスの中が高温になり、作業条件を考えると若い担い手の重要性を改めて感じる事ができました。

## 大規模化に向けて

約2億2千万円の事業費のうち、県から2分の1、横手市から4分の1の補助を受け事業を行っている。今後の課題として、人手不足・暑さ対策・労働条件などがあげられている。農業委員会の視察でも同じようなことがあり、研修生などを入れないと長くは続かないと思います。人手不足の問題を考えないと大規模化は大変だと視てまいりました。



にしだて とくまつ 西館 徳松  
産業建設常任副委員長

## 参加委員ほか3名のコメント



### 職人の丁寧な仕事

曲げわっぱの歴史、職人による丁寧な仕事、伝統工芸を継続していく大変さ、課題等を伺いました。横手市園芸メガ団地事業については、得るもの、参考にすべきものが非常に多い研修でした。  
〔細谷地 多門委員〕



### 行政と共に発信

人材育成、製品のPR活動について、小学校を対象に毎年体験学習を実施し、「誇りである工芸品」と子どもの頃から認識を高め、内外に行政と一体となって発信していることは大変参考になりました今後の町づくりを生かしてまいりたいと思います。  
〔大村 税委員〕



### J A が事業主体に

メガファームはJ A が事業主体となって県も力を入れて取り組んでおり、法人化することによって労働力も確保し、後継者も戻ってきて好循環を生んでいるように思いました。  
〔上山 誠委員〕

# 住民交流施設と教育行政を学ぶ

## ① Y2 ぶらざ

□8月1日(木)  
□秋田県横手市



横手市 HP QRコード



遊びごとにスペースを分け、子どもが安全に遊べる環境づくりがされていました。

## 住民の立場に

横手市 Y2 ぶらざでは、施設の概要及び管理運営、コンセプト、利用状況等の説明を受け、街中再生と賑わい創出、健康や福祉増進のために、常に住民の立場に沿った形で具体的な施策がなされていたと感じました。

東成瀬村の学校教育では、生徒一人一人勉強状況を把握し、より効果的な学習方法を見つけさせ、指導方法に工夫改善を図っているそうです。



ほんだしゅういち 本田 秀一  
総務教育民生常任委員長

## ② 東成瀬村中学校

□8月2日(金)  
□秋田県東成瀬村



東成瀬村中学校 HP QRコード



各階の廊下の壁には多くの掲示物が貼られていました。

幅広い年代が利用  
横手市では、まちなか再生と賑わい創出、健康や福祉増進のために建設された、横手市交流センターY2ぶらざ(わいわいぶらざ)を視察。子育て支援、市民活動、健康活動など、小さい子供から高齢者までの、幅広い年代が利用できる多種多様な設備が整った施設になっていた。

## 村一丸での教育

東成瀬村は小規模な村だが、村が一丸となって教育に力を入れ、子どもを育てていくという姿勢が素晴らしかったです。横手市の交流センターは乳幼児から高齢者まで一か所に集まれるコーナーがあり素晴らしかったです。



たむら 田村 せつ  
産総務教育民生常任副委員長

「かわり」がキーワードに  
全国トップの学力を誇る東成瀬村中学校の教育と、学校経営を視察。課題とのかかわり(課題設定)、仲間とのかかわり(学び合い)、自分とのかかわり(まとめと振り返り)を授業の基本パターンとし、「かわり」をキーワードに、探究型の授業を実践している。

## 参加委員ほか3名のコメント



### 国内外から注目

国内外から注目される東成瀬村の教育は、行政・地域・学校が一体となり、「当たり前」を当たり前前にできる子どもを目指し、村民総参加の関わりを感じました。  
〔中村 正志委員〕



### 意識の高さに圧倒

横手市Y2ぶらざは、夏休み中の子どもたちがたくさんいて、勉強したり交流したり楽しそうに利用していました。東成瀬村では、議長の「本来、国がやるべきことをやっているだけです」という言葉に圧倒される思いでした。  
〔江刺家 静子委員〕



### 利用者がいきいき

横手市交流センターY2ぶらざの利用実績の高さに驚き、利用者のいきいきとした表情が印象的でした。当町の交流駅構想も、利用率向上対策への検討が必要ではないかと感じました。  
〔館坂 久人委員〕

# 検証

## あの「検討します」は… どうなった？ ⑫

# 追跡

議員の質問に対して「検討する」などと回答したものが、その後どのように対応し、どうなっているのかを追跡し、検証するコーナーです。

**問** 町内の舗装されていない道路  
**整備計画の検討状況は**

**答** 緊急性と財政面から総合的に検討し  
計画的に進めたい

平成28年3月定例会  
一般質問から  
Pick up!



### その後は…

検討し舗装が実現した町道もあるが、町道整備については  
今後も検討が必要か。



請願が採択された未舗装の町道の数カ所は舗装されたが、町内にはまだ未舗装の道路が存在する。道幅が狭いため、一般車両や緊急車両がスムーズに通れない道が子どもの通学路、災害時の避難経路となっている場所もある。緊急時など、何か問題が起きる前に計画的に整備してほしいというのが議会の意見であり、町民の要望である。町道整備について今後の町の動きに期待したい。

## 議会のはてな？ しくみを教えて！ No.20

### ぎょうせいしきつ 議員の行政視察

視察後は、視察内容や感想などを議会で発表し合い、議会だよりで町民報告を行い、町政の発展のための政策提言に努めます。

#### 町政の発展へ

先進地視察は、「百聞は一見に如かず」そのものです。現地で見物を見て、話しを聞くことには、代えられない価値があります。

#### 現地の見聞

議員の行政視察は、全国各地の先進事例を直接見聞し、常に情報収集を図るとともに見識を広め、町が抱える懸案事項、さらには課題解決に迅速に対応することを目的として、2年に一回、全議員で先進地視察研修を実施しています。

#### 先進地の視察

## 町民目線の広報誌に

①全国町村議会広報研修会  
□9月24日(火)  
□東京都 シェーンバッハ・サポー

講師2名による「読者目線で親切な広報誌を作るには～手に取られ、読まれ、行動に結びつけるには～」、「情報を分かりやすく伝える」をテーマとした講義に加え、コンクール上位2町村のクリニックが行われ、先進地の工夫を学び、町民目線の広報誌作りの知識を高めました。



全国の町村議会広報担当者が集まった研修会場は熱気に包まれていました。

**住民目線の編集に**  
広報と広聴は一体のもの。読まれない広報誌は発行の必要なし。広報誌は手段。住民と議会との良好な関係作りのため、住民目線に立った編集に努力しなければ……。  
[委員長 中村 正志]

### 参加委員5名の コメント

**読まないと損する**  
議員のための議会報ではありません。町民に「読んでおかないと損する」と思ってもらえるような議会報を作れるようになればと思います。  
[副委員長 江刺家 静子]

**議会は必要？**  
「議会は不要だ」と感じる方がいれば、議員の取り組みが不十分なのかもしれません。今後も町民の皆様からの広聴活動で、より良い議会だより編集と議会改革に努力します。  
[委員 茶屋 隆]

**読んでもらうために**  
町民が議会広報誌を手にとった時、読んでみたいと思えるような思えるような広報誌を作るには、どのようなことに気を配ればいいのかなど考えることが多い研修でした。  
[委員 田村 せつ]

**住民目線で見やすく**  
議会報の編集は住民目線で、分かりやすく・見やすく作ることが重要なのだと感じました。今後の編集に役立てたいと思います。  
[委員 上山 誠]



②国会議事堂視察研修  
□9月25日(水)  
□東京都 国会議事堂

千葉県芝山町議会へ行き、議会報の視察研修をさせていただく予定でしたが、台風15号の被害により受入困難な状況になり、急遽、国会議事堂を見学しました。普段見ることのできない場所を見ることで、議会活動への意欲を高めることができました。

特集記事  
9月定例会

特別委員会

一般質問

議会活動

特集記事  
9月定例会

特別委員会

一般質問

議会活動

# 町民交流と協働



## スポーツ交流7回目 今年はグラウンドゴルフで

町民と議員の交流を目的としたグラウンドゴルフ大会。初心者の方から経験者の方まで多くの町民が参加し、議員との交流を楽しみました。参加いただいた皆様のお名前をご紹介します。お礼いたします。



7月19日



山田和人さん  
(向川原)

### 楽しく交流でき 心身とも健康に

今回初めて参加しました。ルールも分からず不安でしたが、一緒に組の人たちからやさしく教えてもらい、いろいろな人たちとも交流でき楽しかったです。これからも毎日の生活の中に運動を取り入れ、心身ともに健康でいたい。次回も参加したいと思います。

# で元気はつらつ！

## 病院環境整備6年目 シルバー人材センターの協力で

軽米病院の環境整備ボランティア活動は、今年で6年目。厳しい暑さの中、木の剪定や草取り、駐車場周辺の草刈りを行いました。町シルバー人材センターの皆さんからもお手伝いいただき、スムーズに作業を進めることができました。



7月20日

### 病院統合に不安 町民の声を大に

軽米病院の奉仕活動に参加して2年目になります。庭木の剪定や草取りに汗を流しました。県立病院の統合が噂され不安ですが、町出身のお医者さんが心強く、感謝しています。町から県立病院がなくならないように、町民の声が大きくなることを望みます。



千葉エイ子さん  
(沢里)



今回ご参加いただいた皆さんです。次回はあなたもぜひご参加ください！（男女別、敬称略）

男子の部				女子の部			
1	日山 一夫	19	細谷地 剛	37	小林 留蔵	1	並岡 ナミ
2	田澤 清蔵	20	戸草内仁三郎	38	大鳥 正男	2	土佐 タミ
3	山下 正勝	21	安藤 保造	39	中村 光男	3	川原木キ又
4	中野 茂	22	山下 良介	40	木戸口三郎	4	上澤 京子
5	玉田 弘悦	23	平 春治	41	西館 徳松	5	山下 容子
6	一条 義雄	24	大村 忠一	42	本田 芳廣	6	佐藤 雪子
7	小坂 市郎	25	泉山 毅	43	工藤 博	7	藤田 イサ
8	大清水敏彦	26	茶屋 隆	44	中谷 敏見	8	小林 ミエ
9	上村 初男	27	長坂 正志	45	上山 誠	9	於本 京子
10	坂本 孝	28	細谷地多門	46	館坂 久人	10	田中 京子
11	林 正男	29	山本 幸男	47	山田 和人	11	竹澤 カツ
12	中村 正志	30	浅水 秋雄	48	本田 秀一	12	平 ハマ
13	松田 信義	31	圃田 仁吉	49	大村 税		
14	前田 泰穂	32	松浦 満雄	50	川口 幸男		
15	上山 勝志	33	栃木 一男	51	桜田 博之		
16	戸草内貞次郎	34	田澤 勝蔵	52	菅原 孝		
17	沢尻 松男	35	川嶋 敏美				
18	山根 京二	36	原 新吉				

本大会の運営、会場設営等に軽米町グラウンドゴルフ協会（日山一夫会長）より多くのご協力をいただきました。ありがとうございました。

## 秋祭り参加5年目 秋祭り盛り上げに一役

流し踊りにことは9人が参加。昨年新調した色鮮やかな浴衣を身に着け、流し踊り参加者と観覧者とともに楽しみました。



9月15日

# かるまい町に住んでみて

町民インタビュー Vol. 17

二戸市出身 39歳(高清水)  
父・母・妻・長女・次女の6人家族

しもいわ ひろき

下岩 弘樹 さん

あかり  
長女・明香里 ちゃん

わかな  
次女・和香那 ちゃん



## きつかけは結婚

☞ 軽米町で暮らすきつかけは？  
結婚を機に軽米町に来ました。二戸市の御返地地区に住んでいましたが、家の前に稲荷神社があり、現在の家のそばにも稲荷神社があり、運命的なものを感じます。

## 地元と似ている

☞ 町に住む前との後の印象はどう変わりましたか？  
自分が住んでいた地元と似ているという印象でした。軽米町はとても住みやすく、地域の人が温かく親切で、移り住んでよかったと感じています。

## 長所を伸ばす教育

☞ 関心があることは？  
学校教育や育児に関心があります。クラス全体を見るのではなく、子ども一人の長所を伸ばす教育をこれからもしていきたいです。

## 若者の活発な活動を

☞ 他の市町村と比べて  
子育てがしやすい環境であり、スクールバスや医療機関が揃っていて安心していきます。他の市町村は軽米町と比べて、地域の中で若い人たちが活発に活動していると感じます。

## 子どもの遊び場を

☞ 町づくりへの思いを一言  
地域を見回すと、子育て世帯が少なく、就職先・子育て支援・飲食店など、もっと若い人たちに魅力のある町づくりが必要だと思います。

### 募集しています

このコーナーの出演者を募集しています。主に町外から軽米町に来られた方で、町への提言、思いなどをお寄せください。自薦・他薦は問いません。  
議会事務局又はお近くの町議会議員までお問い合わせください。

かるまい  
議会だより

発行日 令和元年 11月6日発行 (No. 219)  
発行者 軽米町議会 議長 松浦 満雄  
編集 議会報編集常任委員会  
〒028-6302 岩手県九戸郡軽米町大字軽米 10-85  
TEL 0195(46)2111 / FAX 0195(46)2335  
URL <http://www.town.karumai.iwate.jp/>

議会報編集常任委員会  
委員長 中村 正志  
副委員長 江刺 家静  
委員 茶屋 隆  
委員 山本 幸男  
委員 田村 せつ  
委員 上山 誠

軽米町議会だよりはこちらから

